

第2号様式（第4条関係）

地域づくり総合支援事業（ふるさと・きずな維持・再生支援事業）  
事業計画（変更計画）書

平成26年4月18日  
一部修正 平成26年5月30日

1 実施主体

(1) NPO法人等が申請する場合

NPO法人等 (実施主体)	種別及び名称	特定非営利活動法人フラガールズ甲子園		
	住所	いわき市平南白土字八ツ坂 36-2		
NPO法人等 (連携先)	種別及び名称	同上	担当者名	伊藤友紀
	住所	同上	電話番号	0246-68-8282

(2) 協議体が申請する場合

協議体の名称					
代表構成員の団体名 及び代表者職氏名					
構 成 団 体	都道府県・市区町 村名及び部課名		事業における 役割		
	民間非営利組 織の種別・名称			事業における 役割	
		住所		電話番号	

2 事業概要

事業名	フラガールのふるさといわき推進事業 第1弾「サマーフラフェスティバル2014 in いわき」 第2弾「全国学生フラフェスティバル2015 in いわき」
総事業費	5,896,000円（うち希望補助金額 4,160,000円）
事業の実施期間	平成26年 6月 1日から平成27年 3月31日まで

注：補助対象期間は補助金の交付決定日からとなります。

### 3 事業計画

<p>地域における課題と事業の目的</p>	<p>1960年の原油輸入自由化によって、エネルギー革命が加速し、これまでこの地域の経済を支えてきた石炭産業は衰退していきました。その最中、新たな産業への転換と雇用の創出を目的として1966年、ハワイをイメージした温泉レジャー施設の常磐ハワイアンセンター（現：スパリゾートハワイアンズ）が誕生しました。そして毎日開催するポリネシアン民族舞踊のショーに出演するダンサーを養成するために常磐音楽舞踊学院が開校し、多くのフラガールを誕生させました。2006年に映画「フラガール」が上映され話題となった後も、2011年の東日本大震災以降は、スパリゾートハワイアンズのフラガールによる「全国きずなキャラバン」や、高校生によるフラの全国大会「フラガールズ甲子園」などフラガールを通じて全国に多くの話題を提供し、今やフラといえば福島県いわき市と言われるまでになりました。そしてフラガールだけでなく、フラは、市民にとって身近なものであり幅広い世代に親しまれています。これは半世紀かけて先人たちが築きあげ、この地に根付かせた独自の文化です。私たちはこの地を日本におけるフラの聖地として、国内は勿論のこと環太平洋諸国と、ふるさといわきを繋いでいきます。</p> <p>そのためにもまず、フラガールがもたらしたいわき独自のフラ文化を通して、新たな繋がりを創ることを目的とした事業を実施いたします。</p>
<p>事業の目標</p>	<p>フラガールのふるさといわき推進事業としてまずは、第1弾「サマーフラフェスティバル2014 in いわき」を開催し、子供、高校生、大学生、企業、フラ教室などが、フラを通じ世代や立場、地域などの垣根を超えた交流を図る機会にしていくとともに、誰もが気軽に参加出来る複合型事業とすることによってより多くの市民がフラに触れる場を創り出していきます。また、フラガールズ甲子園と同日に開催することによって効果的にフラの聖地を全国、環太平洋諸国に発信します。</p> <p>次に、全国的にフラが盛んな大学生を対象とした第2弾「全国学生フラフェスティバル2015 in いわき」を開催し、憧れの舞台での踊りや各大学の垣根を超えた交流が図られることによって、フラの聖地を全国に発信します。また、学生が事業を通じていわきを知る機会となり、今後の交流人口拡大に繋がります。2つの事業を通じて、いわきのフラ文化が外部に発信されるとともに、市民の誇れる存在になることを目指します。</p>
<p>事業内容</p>	<p>フラガールのふるさといわき推進事業第1弾 「サマーフラフェスティバル2014 in いわき」</p> <p>日時 平成26年8月24日（土）10時から19時</p> <p>場所 平中央公園 福島県いわき市平字三崎1</p> <p>内容 市民、関係者、スタッフを含めて5000名の参加を見込む</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・飲食ブース（県内30店舗）</li> <li>・ステージイベント（フラ30団体による発表）</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供向けイベント</li> <li>・キャンドルナイト</li> <li>・フリーマーケット</li> <li>・「フラガールズ甲子園」パブリックビューイング</li> <li>・ハワイの高等学校によるワークショップ</li> <li>・いわき市の復興現状の展示</li> </ul> <p>フラガールのふるさといわき推進事業第2弾 「全国学生フラフェスティバル2015 in いわき」</p> <p>日時 平成27年2月（1泊2日で行い、日程詳細は今後決定する）</p> <p>場所 スパリゾートハワイアンズ その他</p> <p>内容 全国から15の大学及び短期大学、専務学校を募集し160名の参加を見込む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エキシビジョンショー</li> <li>・各大学交流会</li> <li>・慰問活動</li> </ul>
見込まれる成果	<p>1. 本県の復興支援・被災者支援の観点</p> <p>事業によって見込まれる成果について、直接的な効果と波及効果の観点の2つの観点で記載してください。被災者支援の場合は、特に、本事業により支援を受けた被災者の延べ人数を記載してください。</p> <p>1. 直接的な効果</p> <p>第1弾「サマーフラフェスティバル2014 in いわき」 ハワイや全国からの参加者がいわきを訪れ事業を通じ体感することによって、福島県に関する確かな情報を持帰ってもらう。</p> <p>第2弾「全国学生フラフェスティバル2015 in いわき」 参加した学生が、仮設住宅や学校への慰問活動を通じて、震災や原発事故から立ち直ろうとしている人々を勇気づける</p> <p>2. 波及効果</p> <p>第1弾 第2弾共通 フラガールのふるさとを全国にPRすることで、いわきのイメージアップが図られ、震災以降低迷している観光客や交流人口の増加に繋がる。</p>
	<p>2. 取組実施主体の運営力強化の観点</p> <p>第1弾「サマーフラフェスティバル2014 in いわき」 NPOフラガールズ甲子園が主催で事業を行うが、フラガールのふるさといわきを発信するために裾野を広げオールいわき体制で事業に臨み、次年度以降のために実績構築を図る。</p> <p>第2弾「全国学生フラフェスティバル2015 in いわき」 参加大学が決定したあとは、学生主体の事業をめざし、学校同士の連携を図り、本事業の自主的な運営のための「学生連絡協議会」による運営構築を行い、次年度に繋がる体制構築を図る。</p> <p>第1弾、第2弾を通じて、NPOフラガールズ甲子園のいわき市内における体制と全国との繋がりを強化する。</p>
事業スケジュール	<p>26年6月 フラガールのふるさといわき推進事業年間スケジュール決定</p> <p>7月上旬 第1弾「サマーフラフェスティバル2014 in いわき」のPR及び参加団体募集開始</p> <p>8月24日 第1弾「サマーフラフェスティバル2014 in いわき」実施</p> <p>9月～10月 第1弾事業検証報告書作成</p> <p>10月上旬 第2弾「全国学生フラフェスティバル2015 in いわき」のPR及び参加団体募集開始</p> <p>27年2月 第2弾「全国学生フラフェスティバル2015 in いわき」実施</p>

	2月～3月 第2弾事業検証報告書作成
事業実施体制	主催団体：特定非営利活動法人フラガールズ甲子園
事業終了後の展開	事務局はNPOフラガールズ甲子園におき、連携を持った団体との体制は次年度開催に向けて維持する。
事業の先進性・普及性	第1弾、第2弾と連続した事業展開によって、手法と対象者を変え、運動の広がりを最優先し戦略的に運動を展開する。
特記事項	昨年よりも効果を最大限に引き出すために「フラガールのふるさといわき推進事業」として第1弾、第2弾の複合事業にしました。

※用紙が足りない場合は、適宜追加してください。

※地域社会にとっての必要性（ニーズ）について確認できる資料（新聞の切り抜きやアンケート結果等）がある場合は、A4用紙1枚（両面可）に限り添付できます。



燃料費	300	①50,000 子供・学生等の送迎 ②250,000 被災地案内リース代等
印刷製本費	580	募集チラシ、封筒、プログラム、DVD印刷 ①200,000 ②380,000
役務費	245	
通信運搬費	185	電話、ファックス、郵送費など ①80,000 ②105,000
手数料	10	①5,000 ②5,000
保険料	50	①25,000 ②25,000
使用料及び賃借料	2,220	②会場使用料（スパリゾートハワイアンズ1泊2食ステージ使用料込） 2,160,000 バンド60,000
委託料	1,620	①1,220,000（会場テントや音響、椅子、ステージなど） ②400,000（音響照明、写真、ビデオ作成など）
支出合計	5,896	①1,848,000 ②4,048,000

注1 用紙の大きさは、A列4番とすること。欄が足りない場合は、適宜追加してください。

注2 「明細」欄には各区分の積算内訳として、名称、数量、単価、金額を必ず明確に記載すること。なお、「明細」については別紙として添付しても差し支えない。仕様については別途資料を添付すること。

注3 行政による他の補助事業も併せて利用する場合は、各補助金の使途を明確に区分し、この資金計画には、ふるさと・きずな維持・再生支援事業補助金を使用する部分の収支のみ記載すること。他の補助事業にかかる収支についてはこの資金計画には計上せず、別様式にて収支予算書を添付すること。また、他の補助事業の内容が分かる補助金交付要綱、要領等、使途の区分が分かる資料を添付すること。